



一般社団法人

日本看護管理学会

The Japan Academy of Nursing Administration and Policies

主催：倫理委員会

看護実践のジレンマ ～管理者としての倫理的意思決定のあり方を 事例を通して思考する～

日時 2023年12月2日（土） 15:00～16:30

開催方法 オンライン(Zoom)

参加費 無料

対象 テーマに関心のある看護職
(非会員の方も参加可)

参加申込

- 下記の申込フォームにて受け付けます。
- もしくは、右のQRコードにて受け付けます。
- 申込期限は、11月21日(火)17時です。

<https://forms.gle/2xwULbgAfJ1niRBH6>



講師 日本赤十字看護大学 名誉教授 川嶋みどり先生
事例提供者Aさん（看護管理者）
座長 慶應義塾大学病院 看護部長 加藤 恵里子氏
東京女子医科大学病院 看護部長 近藤 芳子氏
進行 ケアプロ在宅医療株式会社 代表取締役 金坂宇将氏

プログラム

- | 事例共有（看護実践のジレンマの事例提供）
- | ディスカッション（事例に基づいたディスカッション）
- | 質疑応答（全体での質疑応答）

事例の概要

○事例1

代理意思決定のあり方に悩むスタッフへの看護管理者としての関わり

- ・ 医療者は、パートナーが患者Aさんの意向をふまえた代理意思決定者になるのか判断がつかない
- ・ 症状の悪化や急変のリスクが高いAさんの意思決定をパートナーに依頼することは妥当だったのか
- ・ 急変時対応を含めた説明を行うことは、パートナーに対して負担が大きいのではないか

○事例2

家族の希望が優先される状況に向き合うスタッフと共に思考する看護管理者の役割

- ・ 告知について家族の希望が優先され、外国人患者Bさんに告知せずに治療をすることが良かったのか
- ・ Bさん自身は、「がん」になった場合、告知を希望していたのかどうか解らないが、告知をすること、告知しないことで、それぞれにメリット、デメリットがあることを医療者が知っていて、家族の意思を優先したことは、どうだったのか

< 研修お問い合わせフォーム >

<https://forms.gle/9xXGHc7SUApHkyGbA>